

# 特別・事業会計予算

## 老人保健

7億8,700万円

(歳入)

支払基金交付金 4億5,076万3千円  
 国庫支出金 2億2,126万8千円  
 その他 1億1,496万9千円

(歳出)

医療諸費 7億8,266万4千円  
 その他 433万6千円

昭和7年9月30日以前に生まれたかたの医療費をまかなう会計です。

## 国民健康保険

8億6,700万円

(歳入)

国民健康保険税 3億1,790万2千円  
 国庫支出金 2億6,405万1千円  
 その他 2億8,504万7千円

(歳出)

保険給付費 5億6,190万2千円  
 老人保健拠出金 1億6,870万2千円  
 その他 1億3,639万6千円

農業や自営業、退職者などの医療費を負担する会計です。

## 介護保険

5億7,160万円

(歳入)

支払基金交付金 1億6,833万1千円  
 国庫支出金 1億3,797万9千円  
 その他 2億6,529万円

(歳出)

保険給付費 5億2,603万2千円  
 その他 4,556万8千円

介護を必要とする人のための会計で、寝たきりなどで介護や支援が必要になったとき、介護保険サービスを受けられます。

## 下水道事業

9億584万7千円

(歳入)

町債 4億9,940万円  
 国庫支出金 2億2,680万1千円  
 その他 1億7,964万6千円

(歳出)

下水道費 8億5,388万8千円  
 その他 5,195万9千円

枝線管渠の築造工事や水質浄化セ

ンターの維持管理を進めていきます。

## 水道事業

収益的収入 2億4,466万9千円  
 収益的支出 2億9,052万5千円

(収益的収入)

営業収益 2億4,463万2千円  
 営業外収益 3万7千円

(収益的支出)

営業費用 2億6,216万円  
 営業外費用 2,636万5千円  
 予備費 200万円

(資本的収入)

出資金 2,000万円  
 負担金 376万3千円  
 国庫補助金 977万7千円

(資本的支出)

建設改良費 1億5,187万1千円  
 企業債償還金 2,300万9千円  
 国庫補助金返還金 1千円

業務の予定量 ▶ 給水栓数4,061栓  
 ▶ 年間総給水量189万3千m<sup>3</sup> ▶ 1日平均給水量5,186m<sup>3</sup>

石綿セメント管更新事業や第1浄水場解体工事等を進めていきます。

## 水と緑豊かな活力あるまちを目指して

### 平成17年度予算編成方針

国の予算編成の基本的な考え方は、2010年代初頭における基礎的財政収支の黒字化を念頭に置き、構造改革を一層推進する「改革断行予算」という基本路線を継続し、持続的な財政構造の構築と予算の質の向上を図る計画です。

本町では、町民の皆様のご指導ご協力を賜り、常に健全財政を堅持し、21世紀にふさわしい基盤づくりを構築するため17年度を初年度とする第5次総合計画のテーマである「水と緑豊かな活力ある明和町」を目指して町政を執行してまいりたいと考えております。町の予算編成にあたっては、国・県の方針および地方財政計画を指針として、町民生活の資質向上のため、計画的・合理的で効率的な行財政運営を推進できるよう行財政改革の趣旨を踏まえて編成いたしました。

主な施策としては、中学校体育館・プール等の設計委託業務をはじめ、地域防災計画の見直し業務、屋内放送に代わる情報伝達手段としてテレドームの導入、協働のまちづくり事業として地区担当職員制度導入、老人福祉センターおよび東・西学童保育所の指定管理者制度による

運営、5か年計画の老人保健福祉計画の作成、児童への医療費扶助の拡大、安全で安心なまちづくり推進協議会の設置、農業集落排水事業の測量調査設計審査業務、住宅用太陽光発電システム設置費補助事業、住宅基本計画策定などを推進してまいり所存であります。また、都市基盤の整備や生活環境の整備、健康の増進、福祉の向上、教育文化の向上、産業の振興、行政基盤の強化などを積極的に取り組み、一般会計を37億円と定め、前年度比で28.2%減となりましたが、受益と負担が均衡に保たれた健全財政を達成した予算編成を行いました。

一方、特別会計では老人保健を7億8,700万円、国民健康保険を8億6,700万円、介護保険を5億7,160万円、下水道事業を9億5,847万7千円、事業会計の水道事業を4億6,540万6千円とそれぞれ定めました。

本年度も行政水準の向上を目指し、総力を挙げて執行に当たる所存ですので、町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

明和町長 斎藤 憲